

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2002年9月9日から2021年5月31日の期間で、当院大腸外科で、直腸がんに対して低位前方切除術と同時に人工肛門造設術(Diverting stoma)を受けられた方(StageⅣあるいはその他の種類のがんをお持ちであった方を除く)			
②研究課題名	Diverting Stoma 造設を併施した低位前方切除術において、術後合併症が予後に与える影響についての検討			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2024年3月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	塩見明生	所属	静岡がんセンター 大腸外科
⑥当院の研究代表者	氏名	塩見明生	所属	静岡がんセンター 大腸外科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ記録媒体			
⑧目的	縫合不全は重篤な合併症であるだけでなく、局所再発増加、長期成績悪化との関連があると報告されています。Diverting Stoma(DS)は重篤な縫合不全の発生を低下させる目的で何らかの吻合部合併症が危惧される際に造設されることが多いです。しかし、そのような DS 造設された患者群において、術後合併症が予後に与える影響はいまだ明らかではないためこれを明らかにすることを目的としました。			
⑨方法	上記対象者について当院データベース、電子カルテ上から情報収集を行います。そのうち、多発がん、重複がん、Cur A以外の症例は除外します。Pathological Stage(pStage)ごとに、吻合部合併症の有無と3年無病生存期間(Disease Free Survival:DFS)の関係について後方視的に解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年9月21日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222(内線3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。